 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span data-bbox="651 517 746 548">ドリブル</span> <span data-bbox="1002 517 1246 548">ミライトワにシュート!</span> </div>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピック、パラリンピックのキャラクターをみつけると“ミライトワ”“ソメイティ”と名前を呼ぶ児童がみられた。</li> <li>• 児童がとても意欲的だったので、低学年の体育の授業の中に、「サッカー」を題材に工夫して取り組むことが位置づけられるようになった。</li> <li>• 遊びの時間に教員を支援にして、パス、ドリブル、シュートごっこ等で、やりとりをして遊ぶことが増えた。</li> </ul>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャラクター好きな児童が多いため、ゴールのキャラクターの中に“ミライトワ”“ソメイティ”を加えて構成した。</li> <li>• 自作のボール（新聞紙を丸めてビニール袋に詰めてガムテープを貼る）を多数準備して取り組み、扱いやすくした。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピック、パラリンピックのキャラクターがあまり浸透しておらず、興味を持てたのは一部の児童のみだった。</li> <li>• 直接オリンピック、パラリンピックの興味・関心につながったか疑問に思う。</li> <li>• 児童の実態差があるので、今後は学習内容の精選や教材の選択、ルール等を工夫することが課題。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピック種目、スポーツに親しみをもつ活動。</li> </ul>

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

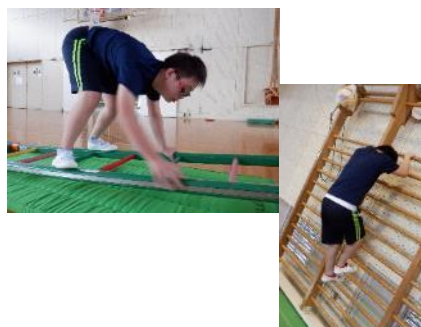
## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ <b>V</b> (複数選択可)
2 実施対象 (学年・人数)	小学部 6年生：12名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	①オリンピック競技(ボルダリング)に興味を持つ。 ②スポーツを楽しむ心を育む。
5 取組内容	(1) 開催日時 令和2年9月～10月の週2回の体育 (2) 会場 本校体育館 (3) 内容 ①基礎運動 (カエル跳び・クモ歩き) ②はしご渡り ③肋木登り降り
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し取り組むことで、腕で体を支えて、前に跳んだり前後に移動できたりする児童が増えた。</li> <li>・はしごを高這い等で移動することでボディイメージやバランス力を高めることができた。</li> <li>・親指と人差し指を輪にして棒を掴むことができるようになった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎運動の中で、地面で体を支える感覚を養い、次にはしご渡りで少し高い位置で横に移動するために体を支える感覚を養い、肋木で高い位置で主に下半身で体を支える感覚を養うように段階を踏んで活動できるように授業を構成した。</li> </ul>



8主な課題等	•はしご渡りは安全性の面から一人ずつ活動するため、体育の授業全体の運動量の確保が難しい点と待ち時間が長くなってしまいう点が課題として挙げられる。
9来年度以降の実施予定	•小学部高学年の間に身に付ける運動の中に支持・懸垂の運動があるので、3年間の間に一度はこういった自分の体を支える活動は実施されると思われる。

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	(I)・II・III・IV・(V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部・ <u>中学部</u> ・高等部 1年生 15名 2年生 25名 3年生 13名 計 53名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	①オリンピックの起源を簡単に学ぶ。 ②東京2020オリンピックの競技種目を知る。 ③前回のリオパラリンピックの競技動画を視聴し、パラリンピックの競技種目を知る。
5 取組内容	(1) 実施日時 令和2年9月11日(金) 13:15~13:50 (2) 会場 本校体育館 (3) 内容 ①古代オリンピックについてパワーポイントのプレゼンテーションをスクリーンに投影し、クイズ形式の質問にヒントを加えながら生徒のオリンピックに対する興味を引き出して歴史を学んでいった。



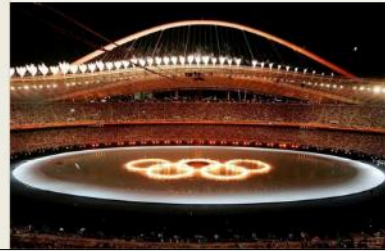


ヒント2  
なんかみたこと あるかも！？



これって もしかして、

おりんびっく  
せいはいは オリンピック でした！！



いきなりですが  
ここでもんだいです！



おりんびっく  
オリンピックは どのくらい 前 から  
あるでしょうか？



おりんびっく  
オリンピックは どのくらい 前 から  
あるでしょうか？

- ① 100 ねん まえ
- ② 2000 ねん まえ
- ③ 4 ねん まえ




②ピクトグラムや競技の画像、動画を視聴し、  
生徒が経験したことのあるスポーツなどに関連づけなが  
ら東京2020オリンピックの競技種目について学んだ。



きょうぎ  
競技 の 名前 を 覚えよう！！



やきゅう  
野球 サーフイン ラグビー

	<p>③リオパラリンピックのPR動画を視聴し、東京大会でもパラリンピックが行われることを学んだ。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックは、古代を起源とし、長い歴史があることを理解できた。</li> <li>・ダイジェスト版の動画ではあったが、オリンピック、パラリンピアンともに競技に臨む選手の躍動する姿や迫力ある表情、スタジアムの歓声などを目にし、パブリックビューイングを体験しているように画面の選手達に対して応援している生徒の様子が見られた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策としてソーシャルディスタンス、換気などをとりながら視聴できる会場(体育館)で実施したが、同時に熱中症対策にも配慮した。</li> <li>・オリンピックの歴史に関心や親しみをもちやすいようにクイズ形式で学べる展開を工夫した。</li> <li>・動画を取り入れるなどの視覚的な支援により注目したり、理解を促したりできるようにした。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンからの距離によっては、映像の迫力を感じにくかった生徒もいた。</li> <li>・学部全体での授業で生徒の実態差もあり、個別にも理解を深められるようなフォローが必要である。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック・パラリンピックの開催を受けて、振り返る機会を設けたい。</li> </ul>





# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書


- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・(III)・IV・(V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部・(中学部)・高等部 1年生 15名 2年生 25名 3年生 13名 計 53名 クラス単位、または、2クラス合同で実施し、対抗戦を行った。
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 生活単元学習 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	① 集団を意識して活動する。 ② 手指の巧緻性等の運動機能を高める。 ③ 活動のルールを理解し、楽しんで参加する。 ④ 交流を通してコミュニケーションの向上を図る。
5 取組内容	(1) 実施期間 令和2年9月～令和3年2月 (2) 会場 本校体育館、他特別教室、または、各教室 (3) 内容 ボッチャ ① 自己紹介、チーム名決め、ルールの確認、練習投球 ② ゲーム開始 (2～3回戦) ③ 結果発表 ④ 感想発表



	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し取り組むなかで、投球の技能、追視、集中力が向上し、ルール理解、活動の見通しが図られた。</li> <li>・集団の活動場面への参加や自己表現、順番を守る、応援する態度、友達とのコミュニケーションを図る機会となった。</li> <li>・パラリンピック競技種目でもあるスポーツに親しむことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャの公式ルールを知的障害のある生徒にも理解しやすいルールにアレンジして実施した(周囲にいくつかケンステップを置き、投球場所を選択。全員の投球後に親ボールに近い色のチームが勝ち。)</li> <li>・クラス対抗戦を行うことでゲームを通じた他学年との交流やクラスのチームワークが育まれるよう工夫した。生徒が事前に試合の日程を計画し、相手クラスへ申し込みをするなど期待感をもちながら主体的に臨めるよう支援した。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャの道具が少ないため、使用調整が必要だった。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャの競技セットを整備し、引き続き体験していきたい。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックの開催を受けて、振り返る機会を設けたい。</li> </ul>

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ <b>V</b> (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部・ <b>中学部</b> ・高等部 1年生 15名 2年生 25名 3年生 13名 計 53名 縦割りの課題別の2グループ編成で行った。 (Aグループ：22名 Bグループ：31名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	①ドリブル、シュート、パス等、蹴る動作の向上を図る。 ②ルールを理解し、勝敗を意識しながらゲームに参加する。 ③チームの友達と楽しみながら活動する。
5 取組内容	(1) 実施期間 令和2年10月末～12月中旬 (2) 会場 Aグループ：本校グラウンド Bグループ：本校体育館 (3) 内容 サッカー Aグループ：2チームに分かれてゲーム 15分間2試合 Bグループ：3チームに分かれて対抗戦 複数のボールを使用した「騎西フリーサッカー」





	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し取り組むなかで、技能や体力が向上し、ルール理解、運動への意欲が高まった。</li> <li>・自分達が経験している身近なスポーツがオリンピック・パラリンピックの競技種目でもあることを知り、TV中継や報道に関心をもって視聴したり、応援したりすることが期待できる。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別グループを編成して実施し、生徒の実態やニーズに応じた活動量を確保できるようにした。</li> <li>・Bグループは、生徒一人に1球ずつボールを用意し、エンドラインからスタートして個々の速度でドリブルしながらミニゴールに向かえるように配慮した。ゴールに集まったボールの数を数えて勝敗を競うルールで実施した。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループは、積極的に取り組んでいたものの全員がボールに集まってしまふことが多かった。ポジションの意識づけやパスの連携を促すために実技の事前学習としてオリンピック・パラリンピックのサッカー競技の映像を見る機会を設けたり、授業のゲームの様子をビデオ撮影して客観的に自分の動きを捉え、次回のゲームにフィードバックできるようにしたりして生徒同士が声をかけ合いながらゲームの質をレベルアップしていきたい。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制をとりながら課題別グループでの授業を引き続き実施していきたい。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックの開催を受けて、振り返る機会を設けたい。</li> </ul>

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ <b>IV</b> ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部・ <b>中学部</b> ・高等部 1年生 15名 2年生 25名 3年生 13名 計53名 縦割り課題別の2グループ編成で行った。 (Aグループ：22名 Bグループ：31名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	①冬季オリンピック・パラリンピックの競技種目を知る。 ②外国の「こんにちは」の挨拶を発声することで世界には様々な言葉があることを知る。 ③外国の「こんにちは」の挨拶と国旗の絵カードのパネルマッチゲームを通して外国への理解を深める。
5 取組内容	(1) 実施日時 令和2年11月30日(月) 10:25~11:10 (2) 会場 Aグループ：本校視聴覚室 Bグループ：本校体育館 (3) 内容 ①冬季オリンピック・パラリンピックの動画を視聴し、どのような競技が行われているかを学んだ。





	<p>②東京2020オリンピック・パラリンピックに参加予定の国から、20か国（20言語）の「こんにちは」を発声して外国の挨拶を知ること、様々な国や言語に対する興味関心を広げられるようにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>世界地図 (せかいちず)</p> <p>せかいの こんにちは</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>かんこく</p>  <p>あにょんはせよ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ねばーる</p>  <p>なますて</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>けにあ</p>  <p>じゃんぼ</p> </div> </div> <p>③20か国の「こんにちは」の挨拶とその国の国旗のデザインの絵カードを使ったパネルマッチ（神経衰弱）ゲームを通して楽しみながら外国への理解を深めた。      体育館で行ったBグループは、クラス集団の6チームに分かれて、3か所で対抗戦を行った。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回も競技シーンの動画を視聴したことで、冬季大会もあることを知り、スポーツに対する興味を広げることができた。</li> <li>・パネルマッチゲームで競い合う意欲を引き出しながら、外国の国旗のデザインに注目することができた。</li> <li>・様々な国の言語（挨拶）を友達と一緒に発声することで、音韻の面白さを味わうとともに、来日する選手や観光客へのおもてなしの心を育むことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別グループに分かれて実施することで、より新型コロナウイルス感染症対策に配慮するとともに、生徒の実態に応じた授業展開ができるようにした。</li> <li>・国旗と挨拶のカード教材を作成し、体を動かしながら楽しんで学べるゲームに取り組み、チーム対抗で友達に声援を送るなど交流を図れるようにした。</li> <li>・動画を取り入れるなどの視覚的な支援により注目したり、理解を促したりできるようにした。</li> </ul>

8 主な課題等	・パネルマッチゲームの時間が限られていたため、生徒一人ひとりがじっくりと国旗のデザインを見比べながら各国の特色を学んだり、デザインの由来などについて取り上げたりすることができなかった。
9 来年度以降の実施予定	・国旗と挨拶のカード教材を繰り返し活用して、世界の文化に親しみ、多様性の理解を促していきたい。









# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <b>V</b> (複数選択可)		
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部・ <b>中学部</b> ・高等部 1年生 15名 2年生 25名 3年生 13名 学級ごと（7学級）に実施		
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（生活単元学習） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）		
4 目標 (ねらい)	① 2021年夏にオリンピック・パラリンピック東京大会が行われる予定であることを知らせ、国内外の参加選手を応援する気持ちを高める。 ② 大会マスコットキャラクターの作品作りを通してマスコットに親しみをもつ。		
5 取組内容	(1) 実施日時 令和3年2月 (2) 会場 各教室 (3) 内容 ① 東京2020オリンピック・パラリンピックが今年の夏に開催される予定であること、オリンピックでは33競技、パラリンピックでは22競技が行われることを伝え、大会期間や主な競技について学んだ。		
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;"> <b>オリンピック</b> (おりんぴっく) 7月23日(金)～ 8月8日(日)                  </td> <td style="text-align: center;"> <b>パラリンピック</b> (ぱらりんぴっく) 8月24日(火)～ 9月5日(日)                  </td> </tr> </table>	<b>オリンピック</b> (おりんぴっく) 7月23日(金)～ 8月8日(日) 	<b>パラリンピック</b> (ぱらりんぴっく) 8月24日(火)～ 9月5日(日) 
<b>オリンピック</b> (おりんぴっく) 7月23日(金)～ 8月8日(日) 	<b>パラリンピック</b> (ぱらりんぴっく) 8月24日(火)～ 9月5日(日) 		



②海外から来日する選手達も含め、アスリートを応援して、自分達もオリンピックやパラリンピック、スポーツを楽しめるようにはたらきかけた。写真を見ながら自分の好きなスポーツや国内外の選手への応援メッセージを考え、カードに書いた。



③東京2020オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクター「ミライトワとソメイティ」の動画を視聴し、マスコットの塗り絵をした。



③拡大下絵に様々な方法（スポンジでタップ、千代紙の貼り絵等）でマスコットの市松模様を着色し、ポスターを制作した。マスコットの周囲に応援のメッセージカード貼りつけ、廊下に掲示した。





6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人に得意なスポーツがあったり、よく知っているアスリートがいたりして、思い思いに応援する気持ちを表現することができた。</li> <li>・今年度オリパラ学習に取り組んできたなかでマスコットキャラクターの大型壁画を制作し、中学部全教室の廊下に掲示することで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げようというムードを醸成できた。</li> </ul>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真、文字カード、動画を取り入れるなどの視覚的な支援により注目したり、理解を促したりできるようにした。</li> <li>・マスコットの大型壁画作りを通してクラスの友達と協力して取り組めるようにした。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は埼玉スーパーアリーナでのバスケットボール女子予選の観戦を校外行事として実施する予定で、今回の学習では、観戦の際のマナー等について事前指導を行う計画だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の事態を受けて、観戦を見合わせることに至った。生徒には、TV等での中継やニュース報道に関心をもって世紀の大会を身近に感じてほしいと期待している。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら安全に配慮し、多様性の理解や共生社会の実現を目指してスポーツや文化的活動を通し、生徒の社会参加の機会、経験を広げていきたい。</li> </ul>



# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立騎西特別支援学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ <b>V</b> (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部 1年生：27名 2年生：28名 3年生：26名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	①パラリンピック競技の理解を深める。 ②スポーツを楽しむ心を育む。
5 取組内容	(1) 開催日時 令和2年11月25日(水) (2) 講師 埼玉ライオンズOB 齋藤智之氏 COOLS プレイヤー 種池良太氏 (3) 会場 本校体育館 (4) 内容 ①講師による実践を踏まえた経験談、プレーの見学 ②車椅子バスケットボール用車椅子の乗車体験 ③車椅子バスケットボールの体験学習



【ゲームの様子】



【競技用車椅子乗車体験】



【事後学習】

- 壁画づくり
- オリンピック・パラリンピック競技についての調べ学習
- 好きなオリンピック選手についての調べ学習

6 主な成果

- 講師の方に実際にプレーしているところを見せていただき、間近でシュートする迫りに大盛り上がりであった。
- 初めて競技用車椅子に乗る生徒がほとんどであり、初めは緊張している様子だったが、慣れてくると笑顔で操作する姿が見られた。
- シュート練習では、普段のバスケットゴールよりも低い位置からのシュートであったが、真剣にゴールに向けてシュートを打つ姿が見られた。
- 車椅子バスケットを通し、他のオリンピック・パラリンピック競技に興味を持つ生徒が増えた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員が体験できるよう、できるだけ多くの車椅子を借用し、取り組むことができた。</li> <li>・事前に生徒の実態を講師へ周知し、実態に合った授業づくりを行った。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症拡大により、様々な制限が多い中での開催になった。</li> <li>・三密を防ぐため、学年ごとでの取り組みになったが、時間が足りなくなる学年があった。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のオリンピック・パラリンピック競技を体験する。</li> </ul>